

# 水通信



2021.2.25 第178号

「水通信」は、水資源機構（主に中部管内）における取組に関する情報を、中部管内の関係者（県、市町村、土地改良区その他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。

各事業所名をクリックすると目次に戻ります

## 目次

☆ [【巻頭言】](#)

- 中部支社事業部次長 宮川省三

☆ [【中部管内水源情報】](#)

☆ [インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』](#)

- 愛知用水総合管理所 第一工事課 鈴木綾子

☆ 《新着情報》

[中部支社](#)

- 危機管理対応訓練を実施しました
- コロナ禍でも工夫しながら業務を進めています

[豊川用水](#)

- 愛知大学学生の万場調整池施設見学を実施しました

- 危機管理防災訓練を実施しました

#### 木曾川水系連絡導水路

- 「安全運転講習会」を実施しました

#### 愛知用水

- 地元の三好高校生に対し企業講話等を実施しました
- 令和2年度 愛知用水環境学習会を実施しました

#### 木曾川用水

- 木曾川用水の歴史に係る勉強会を行いました

#### 岩屋ダム

- 岩屋ダム周辺「環境整備活動」に参加しました
- 岩屋ダムもコロナ対策に一役～12月からの少雨でも安定した水をお届け～

#### 阿木川ダム

- 恵那市大井町自治連合会の施設見学を実施しました
- 空心菜撤去作業を実施しました
- ダム防災操作研修を実施しました

#### 徳山ダム

- 雪の多い冬となっています

#### 長良川河口堰

- 揖斐川・長良川中堤合同クリーン大作戦に参加しました。

#### 味噌川ダム

- 「木曾谷新春狼煙（のろし）あげ」に参加しました

#### 三重用水

- 菰野調整池周回散策路のご案内

#### ☆【イベントカレンダー】

- 令和3年 3月～ 4月

#### ☆【編集後記】

- 担当課 中部支社 総務部総務課

## 巻頭言

【中部支社事業部次長 宮川省三】

2020年の春先に始まった新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、いまだに収束の気配を見せていません。むしろ、国内では年末年始から猛威を奮い、社会全体として大変厳しい状況の中、新年を迎えることになりました。そして、再度緊急事態宣言が発せられるに至りました。

新型コロナウイルスの流行は、人々の生活、仕事に様々なリスクが隠れていることが炙り出されました。直ぐ思い浮かぶのが、①密集して働く職場のリスク、②移動のリスク、③会食のリスク、などがあり、3密を避ける取り組みが求められています。ダム、堰、水路等のインフラ施設を維持管理する水資源機構としては、施設管理する最前線の管理所、これを総括し見守る支社・本社、いずれのセクションでもこのリスクを負います。これらのリスクの回避のためには、働き方改革も意識し、在宅（リモート）勤務、WEB会議の採用に加え、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の促進を目指すこととなります。

しかし、施設の管理は現地での点検・巡視・操作が基本であり、在宅でできない業務も多く、決して容易に改革に至るものではありません。飲まず食わず、移動もできなければ仕事になりませんし、要員のわずかな管理所では、万一の感染者の発生は致命的です。水機構の業務は、国民生活や経済活動に直接関わる仕事であり、一日足りとも止めることが許されません。感染症対策の徹底を図り、24時間365日、水の安定供給に使命を燃やします。

また、DXはITスキルの向上により、今まで想像もしていなかったことも可能な時代になるのだと思います。中高年職員も時代に遅れないようITスキルの向上を忘れてはなりません。当面は、若手職員が段取りしてくれたWEB会議で椅子に座り会議に参加するだけですが、今後はそれだけではいられません。自らWEB会議のセットができるようにならねばと感じています。

さて、各地で計画規模を上回る洪水が頻発する昨今であります。昨年を振り返ると、球磨川が大災害を受けた7月の豪雨において、牧尾ダムが事前放流により大きな効果を発揮しました。利水ダムを含めて、事前放流による洪水調節機能の強化が、全国的に展開されることになり、水機構の各ダムにおいても取り組みました。中部管内でも水系毎に治水協定が締結され、水機構ダムでは一級河川の10基、二級河川の1基のダムが実施要領を制定しました。今年も、中部管内の二級河川の利水ダム2基についても関係者との治水協定の締結の上、実施要領を定め必要に応じて既存ダムの洪水調節機能の向上のため事前放流に組み込みます。

今後も地域の安全と安心のために施設の適切な管理・建設に努めてまいりますので、利水者・関係機関の皆様には引き続き、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

## 中部管内水源情報

### 【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける2月22日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曽川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の2月降雨量は平年を下回る状況（平年比47%～74%）となっていますが、4ダム合計の貯水率は68%（平年比101%）と、平年を上回る貯水状況となっています。

なお、牧尾ダム及び岩屋ダムでは、3月末に向けて主として発電による貯水池運用により貯水量が計画的に低下していきます。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの2月降雨量は、平年を下回る状況（平年比34%～59%）となり、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は57%（平年比83%）と平年を下回る貯水状況となっています。

豊川水系においては、少雨に伴う河川流況の悪化により、ダムからの利水補給を行っているため、今後の降雨、貯水状況に注視していきます。

中部管内各ダムにおける2月の降雨及び利水貯水率（2月22日現在） 単位：（%）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	55	47	65	74	34	59	107	119
利水貯水率 (平年比)	30.3 (98.0)	74.6 (92.7)	86.8 (93.7)	100 (107.5)	38.4 (64.6)	83.7 (100)	95.6 (116.9)	100 (100)

木曽川水系各ダムにおける積雪状況 単位：（cm）

	牧尾ダム (八海山地点)	味噌川ダム (ワサビ沢地点)	岩屋ダム (櫛谷地点)	徳山ダム (塚地点)
(調査日)	(2/18)	(2/21)	(2/22)	(2/22)
積雪深	63	56	21	119
平均値	72	76	50	118

データ提供元：（岩屋ダム）岐阜県高山土木事務所 （徳山ダム）国土交通省

平均値：調査日同日又は該当する旬の近10ヶ年平均値

- 中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。

中部支社HP <https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

◆リアルタイム情報 <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>

◆中部管内の水源状況（平日更新）<https://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>

◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など

[https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessui\\_jyouhou02-1.html](https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessui_jyouhou02-1.html)

◆木曽川水系各ダムの積雪状況

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/2021/210222sekisetsu.pdf>

## インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』

中部支社メールマガジン水通信では、令和3年より新たなコミュニケーションツールとして、水資源開発施設等の建設・管理に携わる「人」に焦点を当て、それぞれのスペシャリストにインタビューを行う新コーナー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』を掲載していきます。

今回は、愛知用水総合管理所にて三好池耐震補強工事等を担当されている、みよし市からの出向職員である第一工事課の鈴木綾子さんにお話を伺いました。



(写真：三好池耐震補強工事にて減水した池から鯉を救出)

鈴木さんは平成31年4月に水資源機構(以下「機構」という。)に出向され、現在は愛知用水総合管理所第一工事課で三好支線水路緊急対策事業に携わっておられますが、これまではどのような業務を経験されてきたのですか。

—— 学生時代には河川工学を専攻テーマとしていましたので、みよし市ではその経験を活かした業務 — 具体的には、河川の改修、下水道の敷設や補修などの土木に関する業務を行ってきました。

これまでの業務経験を活かして出向職員に抜擢されたのですね。これまで、機構のことはご存知でしたか。また、機構への出向を伝えられた際の心境を教えてください。

<Profile>

鈴木 綾子 Ayako Suzuki

愛知用水総合管理所 第一工事課  
(みよし市出向職員)

平成26年 みよし市役所 入庁

平成31年 独立行政法人水資源機構へ  
出向、現在に至る

—— 機構の名前は学生時代の知人を介して知っていました。出向のお話を聞いた時には、業務を行う組織は変わりますが、新しい業務に対する興味が大きかったので、特に不安はありませんでした。

鈴木さんの業務に対する前向きな姿勢が素晴らしいですね。機構に出向され、新たな人間関係や仕事のやり方などが変わり苦労されたのではないですか。

—— 今までとは異なる組織で仕事をするということで、何もかもが新しく、新鮮な気持ちで業務を行っていました。また、出向者として、みよし市の代表という気持ちで業務を行っていました。

機構の職員は、普段鈴木さんにどのように接してくれていますか。出向前と出向後で職員に対するイメージが変わったことはありますか。

—— これまで他の機関の方とあまり関わったことがないのですが、これまでは仕事に厳しい職人気質なイメージがありました。今では業務や研修等を通じ、愛知用水をはじめ全国の職員の方と接したことで、とても親切で優しいイメージに変わりました。

そう言うただけると、機構職員としても非常に嬉しいです。

現在の業務について教えてください。工事に關する地元調整について、鈴木さんは地元のことをよくご存知であり、それに加えて土木に関する知識があることが鈴木さんの強みだと思いますが、この強みを現在の業務においてどのように活かされていますか。

—— やはり地元のことを良く知っているのは、業務を進めていく上での強みになると思っています。

設計段階では、地元を知っているので周辺の利用状況や関係者の把握が容易で事前相談がしやすかったです。また、施工段階においては押さえておくべき関係者が把握でき、迅速なアポイントが取れるなど強みを活かしました。

土木の知識に関しては、経験豊富な方々に教えていただきながら今も日々勉強させていただいています。

現在お仕事されている工事課と言いますと、工事の監督や地元調整、設計変更等で多忙なイメージがありますが、多忙な業務をどのように工夫して乗り越えていますか。

—— 施工業者さんとの調整では週に1度工程会議を設け、課題ややるべきことを洗い出し、共有して全員で取り組める体制を整えています。設計変更では1人で抱えすぎないように、変更内容のリストを作成し、他の方にお問い合わせできる場所は積極的にお願いするようにしています。

日々工夫しながら業務を進められているのですね。慣れない業務や多忙な職場でストレスもあるかと思いますが、ストレス解消のためにしていることがあれば教えてください。

—— たくさん寝て、食べてストレスを解消するとともに、休日には市役所の同期と写真撮影・アニメ鑑賞・釣り・デイキャンプなどを広く浅く楽しんでいます。新型コロナウイルスが流行する前は、愛知用水総合管理所の若手職員とパーティーなどもしていました。機構職員はお酒をたくさん飲まれる方が多いですね笑。

お酒に関しては、機構職員と一緒にお仕事されたことのある方は皆さんそうおっしゃいます笑。

好奇心旺盛で様々なことにチャレンジされ、公私ともに充実した生活を送られている鈴木さんですが、これまでの業務で達成感を得たと感じる仕事について教えてください。

—— 三好池のような大規模構造物の工事に携わるのは初めてでしたが、このような大きな施設の耐震化が工事の進行とともに形になっていくことに関われたのは嬉しかったです。

三好池は工事が順調に進めば5月に復水を迎える予定であり、このまま無事に竣工してほしいと思っています。

最後になりますが、鈴木さんは今後どのような職員になりたいと考えていますか。また、今回の経験を今後どのように役立てたいと考えられていますか。

— 限られた条件の中で、地域の人にやって良かった、と思ってもらえるような工夫のできる職員になりたいです。

みよし市では職員一人ひとりが様々な役割を担っていましたが、機構では専門性の高い業務をそれぞれの担当が行っており、土木の知識だけでなく事務的な業務の効率化、地域との柔軟に対応していく関係作りなども学んでいます。そういった内容も今後の業務に生かしていけたらと思っています。

インタビュー当日、愛知用水総合管理所にて鈴木さんの業務を拝見させていただきましたが、元々機構職員だったのではと思う程のコミュニケーション能力の高さや、他部署に掛かってきた電話を取るなどの積極性を垣間見ることができ、機構職員も見習わなければと感心しました。

鈴木さんには愛知用水総合管理所で培った経験とコミュニケーション能力の高さを武器に、今後のさらなるご活躍を期待しております。

鈴木さんの活躍ぶりをほんの一部ですが写真にてご紹介します。



(写真左：地元の小学生向け工事見学会におけるケーブルテレビ局からの取材対応シーン)

(写真右：機構が主催する群馬県での環境研修における生物調査実施状況)

水資源機構中部支社では、水の安定供給を支える「人」に焦点を当てたインタビューコーナーを今後も特集として掲載していきます。インタビューに応えていただける方を募集しておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

## 《新着情報》

### 中部支社

#### ○ 危機管理対応訓練を実施しました

「危機管理対応訓練」は、防災意識の高揚と知識の向上、災害発生時の初動態勢の確立や情報収集・伝達、応急対策などの対応能力の向上を図ることを目的として、毎年1月から2月上旬の間に水資源機構の本社・支社局及び各事務所で実施しています。

今年度、中部支社においては、①田辺宿舎に設置されている防災本部の設置・運営訓練、②非常参集時におけるリスク回避ルートによる参集訓練、③非常参集時における安否確認訓練を1月27日午前中に実施しました。

今回は新たな試みとして、②非常参集時のリスク回避ルートによる参集訓練を実施しました。これは、非常参集時を想定し、通常の出勤ルートとは異なるルートで出勤を行うもので、緊急時に慌てず冷静に移動することを目的に実施したものです。

実施にあたっては、様々なルートを事前に検討し、実行の際にも危険な箇所がないか周辺の状況を確認しながら移動を行いました。訓練参加者からは、「危険箇所となりうるものを確認することができた」「どうしても避けられない危険箇所がある」など、防災意識の向上を図ることができ、大変有意義な訓練であったと考えています。

コロナ禍での訓練となり制約もありますが、今後も大規模地震の発生に備え、防災意識の高揚と知識の向上、対応能力の向上を図るため、様々な訓練を実施していきます。

#### ○ コロナ禍でも工夫しながら業務を進めています

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、年度当初に緊急事態宣言が発せられ、不要不急な外出を避け『ステイホーム』の生活がはじまりました。

イベントは中止又は延期、スポーツは無観客試合となり、2020オリンピック、パラリンピックは1年延期になりました。プロ野球やJリーグなどのプロスポーツ競技は、観客を絞って今までにない雰囲気で行われましたが、試合中の選手の声がよく聞き取れるなど新たな一面がありました。

こうした中、水資源機構では、移動を伴う出張をできるかぎり行わず、機構内外との会議はオンラインで行い、感染防止対策を行っています。

中部支社の感染症予防対策は、人的な対策として、出勤する職員数を減らすために4班制にし、支社勤務者1/4、在宅勤務者3/4とするためにリモートワークを導入し、業務を行っています。物的な対策としては、寒さに耐えながらの換気に加え、庁舎各階に消毒液を設置し手指消毒の励行、決められた時間にドアノブ、手すりなど共用部の消毒、対面して執務している机は、アクリル板で飛沫防止を行いつつ、コミュニケーションの妨げにならないよう配慮しています。

こうした職場環境は、令和3年になった今でも、再度緊急事態宣言が愛知県にも発せられたことで継続しており、同じ中部支社で勤務しているものの、職員全員とは一同に会えない状況が続いています。

このような状況下ではありますが、今シーズンは積雪が多いことから、味噌川ダム近くのやぶはら高原スキー場の紹介を兼ねて、玄関ホールにて機構職員が歌う公式ソングを流し、リフト割引券を置いています。不要不急の外出を控えている時ではありますが、少しずつでも以前のような日常が取り戻せるよう、管内の情報も引き続き発信していく予定です。

## 豊川用水総合事業部

### ○ 愛知大学学生の万場調整池施設見学を実施しました

令和2年12月2日（水）、愛知大学の学生（20名）及び教授等（4名）が万場調整池を見学されました。

直前に学生から頂いた質問は約40問にのぼり、この質問に対する回答を踏まえ、当事務所及び豊川総合用水土地改良区の職員から事業の説明をした後、万場調整池を一望できる屋上にて施設の概要を説明しました。

見学の最後に学生より「何をしているところなのか不明であったが、説明を聞いて理解した。今後の学習に役立てたい。」と謝意を込めたコメントを頂きました。あわせて、教授からお礼のメールを見学後に頂きましたので抜粋して紹介します。

（以下メール抜粋）

視察をとおして、地域の農業、産業、生活を支えている豊川用水および関係機関の皆様の役割について多くのことを学ばせていただきました。



■ 事業説明を聞く学生たち



■ 管理所屋上での概要説明の様子

## ○ 危機管理防災訓練を実施しました

1月28日（木）に危機管理防災訓練を実施しました。訓練では午前には安否確認及び非常参集訓練、午後には防災本部設置訓練の2部に分けて実施しました。非常参集訓練では、ハザードマップ上の危険箇所をさけて出勤するという訓練を行いました。その結果、通常の通勤ルートを変更する者が17%もおり、日頃から災害時を想定して通行出来る道路を確認することが、災害時の迅速な対応に繋がるということを確認させられました。

午後からは、担当課員数名で防災本部設置訓練を実施しました。昨年度に経験済みの職員が中心となって本部の設置訓練を行ったことで、短時間で設置することができましたが、いくつかの課題もみつけられました。今後、これらの課題を改善し、防災本部の速やかな設置及び適切な防災対応に取り組んでまいります。

## 木曾川水系連絡導水路建設所

### ○ 「安全運転講習会」を実施しました

1月27日（水）、JAF（一般社団法人日本自動車連盟）岐阜支部の方を講師にお招きし、安全運転講習会を開催しました。

始めに映像による講義があり、後部座席のシートベルト着用と未着用の衝突実験や、駐車場に駐車する際や出発時の死角になる部分、道路に出ようとする際の注意点の紹介がありました。また、ドライブレコーダーによる映像では、事故になりかねないようなリアルな場面の映像があり、ひやりとしました。運転をするときは、今一度、安全運転に心がけなければいけないと思いました。

そのあと、タブレット端末を用い、運転に伴う能力維持や低下防止につながるものを、JAFのエイジド・ドライバー紹介応援サイト（WEB）で行いました。最初は、笑顔がありましたが、次第に真剣になり、自分の視覚、聴覚のレベルを再確認でき、より注意して運転しなければと思いました。

今後も職員一同、安全運転の向上及び交通事故防止の徹底に務めていきたいと感じました。



■講習を受ける職員



■タブレットによる能力等のテスト

## 愛知用水総合管理所

### ○ 地元の三好高校生に対し企業講話等を実施しました

1月19日（火）に、愛知県教育委員会の委託を受けたNPO法人アスクネット主催のインターンシップが、地元の愛知県立三好高等学校でも行われることとなり、依頼を受けた愛知用水も生徒約60名を対象に、管理課長と総務課長が企業講話として、「世界の水事情」・「水資源機構の仕事」・「愛知用水の概要」についてパワーポイントのスライドを用いて講義しました。

講義の後の「企業の問題をみんなで考えるワーク」という授業では、生徒に考えていただく課題「水源地への感謝の気持ちが薄れゆくなか、どのように防げば良いか？」について発表をしてもらったり、社会人に対する質問タイムがあり、当方にとっては水源地への思いをめぐらせる中で、愛知用水事業の重要性を理解してもらうとともに、高校生にとっては社会人になることへの不安要素を少しでも緩和できればとの思いで対応しましたが、双方にとって大変有意義な時間となりました。

ー当日のカリキュラムー

（ ①企業講話50分+②課題発表・質問タイム50分 ）×2回実施

当初は、このインターンシップの三好高校の取り組みとしましては、愛知用水総合管理所へインターンシップを希望する2名の生徒に対して、管理所で受け入れて職場体験をしてもらう予定でしたが、愛知県に新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言が発令されたことを受け、急遽、数日前に各企業側が学校に出向いて講話等を行う形式に変更となり、その一企業として水資源機構を紹介する機会を得たものです。



このことから、必ずしも水資源機構や愛知用水に全く知識や関心が無かった生徒にも水に関する課題や水資源機構について話を聞いてもらえるチャンスが得られたものと捉え、結果、課題発表ではSNSの有効的な活用や、農産物に水源地表記をしてみたら・・・などなど複数の提案がなされ、何事にも真剣に取り組む若い世代のフレッシュなアイデアを吸収することができました。

愛知用水総合管理所では、こうした生徒からの貴重な意見を所内で共有を図りつつ、新たな取り組みの

参考にしていきたいと考えています。

愛知用水は今年9月末で通水60年を迎えます。これまで長く水を安定して供給が出来てきたのは、水源地域のご協力の賜であり、講話を行う側としても改めて水源地域への感謝の念を持ち続けることの重要性を再確認するとともに、愛知用水では将来の水の安定供給に向けて、貴重な水の水源と愛知用水事業の歴史や重要性に関するPRを図って参ります。

○ 令和2年度 愛知用水環境学習会を実施しました

1月13日（水）、環境に対する意識と知識の向上を図るため、愛知用水環境学習会を開催しました。今年度は名古屋地方気象台に講師を依頼し、「気象の基礎知識と防災気象情報の活用」をテーマに講演をいただきました。

今回の学習会は新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、気象台とのオンライン通信による分散での開催となりましたが、5会場で計19名の機構職員が参加しました。

講演は天気図の見方といった基礎知識や過去の気象災害についてなど、業務遂行に大変参考になるものでした。また、改めて自然災害に対する備えを考える良い機会となりました。

今後も学習会で環境に関する色々なテーマを取り上げ、意識と知識の向上に努めていきたいと思います。



■ 講習を受ける職員



■ オンラインで受講する職員

## 木曾川用水総合管理所

○ 木曾川用水の歴史に係る勉強会を行いました

令和2年12月21日（月）、木曾川用水総合管理所職員8名が海部土地改良区「水の館」において、木曾川用水の歴史に係る勉強会を行いました。

木曾川総合用水事業の実施により、安定的な用水利用と計画的な地域配水が可能となったことで、これまでの地域農業の抱えてきた数々の課題が解消されるとともに、人々の安全で豊かな生活を潤し続けてきたことを学ぶことが出来ました。

この歴史を学んだことにより、木曾川用水の担う役割と責任を再認識し、緊張感を持って日々の管理業務に努めていきたいと思いました。



■歴史に関するビデオ視聴の様子



■海部土地改良区「水の館」展示室

## 岩屋ダム管理所

### ○ 岩屋ダム周辺「環境整備活動」に参加しました

令和2年12月1日、岩屋ダムの上流にある日陰橋下流ポケットパーク（西村ダムから500M下流）で、岩屋ダム水源地域ビジョン推進協議会が主催する環境整備活動に参加しました。この活動は、岩屋ダムを活かした水源地域の活性化を図るべく、毎年、開催されているものです。今年は特に、同ポケットパーク近くにある、天然の巨石群がロッククライミング業界で注目を浴びていることから、同場所を中心に環境整備を行いました。

当日は、木枯らしの冷たい風が吹く中、下呂市・馬瀬川漁協・馬瀬川第二ダム等の関係者約30名と、枝打ち・下草刈り等や、投棄されたゴミ等の回収を約2時間行いました。作業が進むにつれ景色が変わる様は見ていると気持ち良く、作業後はすがすがしい気持ちになりました。少しでも今回作業を行った場所が利用され、地域活性化の一助になれば幸いです。

今後も、関係団体との交流を深め岩屋ダム管理所の水源地域である下呂市を共に盛り上げていければと思います。



■除草作業前の状況



■除草作業後の状況

○ 岩屋ダムもコロナ対策に一役～12月からの少雨でも安定した水をお届け～

岩屋ダム地点における12月の降水量は21mmと、平年の79mmに対して27%と少ない状況でした。特に、29日までの降水量は累計で2mmと極めて少なく、この少雨傾向は木曽川流域全域にわたったため、木曽川の流れも次第に少なくなりました。

12月12日には今渡ダム地点で基準流量毎秒100m<sup>3</sup>を下回り、このままでは木曽川を流れる各種用水に影響するため、岩屋ダムに貯えた水(61,900千m<sup>3</sup>、利水貯水率100%)を少しずつ加えて流す「利水補給」を開始しました。

年末(30日)に13mmの降雨、年明け(1日)には30cmの積雪となる14mmの降水量を観測しましたが、木曽川の流れを大きく改善するまでには至らず、1月に入っても岩屋ダムからの利水補給を続けました。

その後、1月23日から27日にかけて岩屋ダム地点で合計53mmの降水量を記録し、この雨は木曽川流域の広い範囲にも降り注いだため木曽川の流れが増え始め、岩屋ダムからの利水補給もひと段落して貯水池は貯留に転じ、53,374千m<sup>3</sup>(利水貯水率86%)まで低下した利水貯水量は1月28日に利水貯水率は100%まで回復しました。

全世界を襲うコロナ禍でうがい・手洗いの大切さはこれまでになく増しているところですが、この年末年始に岩屋ダムに貯えた8,526千m<sup>3</sup>(一般家庭用湯船で換算すると42,630千杯分)の水を流し、皆様のもとに安定した水をお届けすることができました。



■12月7日の岩屋ダム(利水補給前)



■1月25日の岩屋ダム(利水補給後)



**ことわざブレイク**

【一場(いちじょう)の春夢(しゅんむ)】

・人生の栄光や繁栄は、きわめて儚いこと。

## 阿木川ダム管理所

### ○ 恵那市大井町自治連合会の施設見学を実施しました

令和2年11月30日（月） 阿木川ダムの下流にあたる恵那市大井町自治連合会の皆さまが施設見学に訪れました。昨年度から恵那市と共同で実施している、下流自治会への防災操作説明会などを通して防災意識が高まる中、大井町自治連合会より依頼がありダムの役割、防災操作などの説明を行いました。



■ 概要説明の様子



■ ダム天端より恵那市街を眺望

### ○ 空心菜撤去作業を実施しました

令和2年12月18日（金） 寒空の下、恵那農業高等学校、恵那市、地元NPO法人の方々と、この夏も実施した空心菜の水耕栽培による水質浄化試験で使用した、フロートやコンテナなどの撤去作業を共同して実施しました。



■ コンテナから枯れた根の撤去



■ フロートの清掃

○ ダム防災操作研修を実施しました

1月28日（木） コロナ禍の中、WEBを活用しダム防災操作研修を実施しました。午前中は、ダム防災操作の基本などを学び、午後からはダム操作シミュレータを利用した実践的なダム防災操作の研修を行いました。



■ ダム防災操作の基本を研修



■ ダム防災操作の実践的な研修

## 徳山ダム管理所

○ 雪の多い冬となっています

昨シーズンの冬は、雪が少なく降ってもすぐに溶けてしまうような積雪でしたが、今シーズンは令和2年12月16日（水）に大雪となり、その後も雪の日が多い天候となっています。

揖斐川町の市街地で降雪がなくても徳山ダムに着くと降っていることも多いです。徳山ダムの所在地は岐阜県ではありますが福井県の天気予報が参考になります。この時期徳山ダムは積雪により、陸の孤島のようなもので、訪れる人も少ないですが、徳山ダムの職員一同、ダムの維持管理を粛々に行いつつ、新緑の春を待っています。



■ 雪に覆われた徳山ダム



■ 除雪作業をする徳山ダム職員

## 長良川河口堰管理所

○ 揖斐川・長良川中堤合同クリーン大作戦に参加しました。

長良川河口堰管理所では、令和2年12月15日（火）NPO法人木曾三川ごみの会が主催する長良川中堤合同クリーン大作戦に参加しました。

揖斐川と長良川の間の堤防付近（JR関西本線から国道1号線の間）を中心に清掃を行い、国土交通省木曾川下流河川事務所、関係業者の方々、当管理所の職員合計約120名が参加しました。

清掃活動は、参加者全員の体温を測るなど新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じつつ、密にならないよう上下流二手に分かれて行われました。

清掃時間は、僅か1時間程度だったものの、河川漂着ゴミから不法投棄ゴミなど合わせて30L袋約140個分とかなりの量に上りました。

参加者全員が河川環境の改善を図ろうと、率先してゴミを集めていました。



■収集したごみ



■クリーン大作戦に参加された方々



ことわざブレイク

【春に三日の晴れ無し】

・動きの速い移動性高気圧による春の晴天は長続きせず、3日と続かずに天気が変わってしまうという意味のことわざ

## 味噌川ダム管理所

○「木曾谷新春狼煙（のろし）あげ」に参加しました

1月4日（月）、旧中山道でつながる木曾郡内から塩尻市にかけての各地で一斉にのろしをあげ、「木曾は一つ」との思いをつなぐ新春の風物詩「木曾谷狼煙あげ」が行われました。

狼煙あげは南木曾町妻籠の住民組織・妻籠を愛する会の呼びかけで平成19年に始まり、郡内外の住民グループが徐々に加わり、今年は全会場（21カ所）合わせて235人ほどが参加しました。

味噌川ダムの職員も水の始発駅公園での狼煙あげに参加させていただきました。当日は晴れた空にもくもく立ち上る煙を見ながら、今年一年間の幸せや健康を願いました。



■のろしあげの様子

## 三重用水管理所

○ 菰野調整池周回散策路のご案内

立春を過ぎましたが、まだまだ寒い日が続きます。そんな菰野調整池の梅もやっと咲き始め春の匂いを感じさせてくれています。

さて、菰野調整池は周囲約2kmにわたり、散策路やジョギングコースとして開放しています。車の通行もなく、鳥のさえずりものどかに聞こえます。

ここからは鈴鹿山脈（雲母峰～御在所岳～釈迦ヶ岳～竜ヶ岳～藤原岳）が市街地からの眺望とは違って、構造物のない自然の山々を見ることが出来ます。

また、四季折々の草花や北勢地方の市街地を望むことができます。

コロナ禍収束の折には、是非散策してみてください。



■調整池を一望できる休憩場所



## イベントカレンダー

中部管内関連のイベントカレンダー 【令和3年3月～4月】

新型コロナウイルス感染拡大防止により、各イベントについては自粛しております。

## 編集後記

【中部支社担当課：総務課】

令和3年も早2か月が過ぎようとしています。新型コロナウイルス感染症の拡大により、中部支社のある愛知県では、再び緊急事態宣言が発せられ、不要不急の外出を控えた自粛生活が続いています。これまでに感染症で亡くなられた方に対しお悔み申し上げますとともに、感染された方々におかれましては、一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

国内では、2月から医療関係者を対象としたワクチン接種が始まりましたが、注射を打つことで以前のような日常生活が取り戻せるなら、一時の注射の痛みも我慢し甲斐があります。

さて、この水通信は今回号から新しいコーナーとして、水資源機構の事業にご協力いただいている方や、深く関わっておられる方へのインタビュー記事を掲載していきます。紹介させていただいた方々の経験や教訓などを、今後の業務に生かしていきたいと思っております。

最後に一句

“コロナ禍を ワクチンたより 春を待つ”



今月の水通信はいかがでしたでしょうか。

「水通信」に対して、ご要望、ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。

[mailto: chubu\\_water@water.go.jp](mailto:chubu_water@water.go.jp)

\*\*\* 『第179号は、4月下旬に発行する予定です。』 \*\*\*

バックナンバーをご覧になりたい方はこちら

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/mizutsuushin/mizutsuushin.html>



**ことわざブレイク**

**【世の中は三日見ぬ間の桜かな】**

・世の中の移り変わりが激しい様を、桜の花が短期間で散ってしまう様子にたとえたことわざ

☆中部管内事業所のホームページアドレスは、以下のとおりです

中部支社：	<a href="https://www.water.go.jp/chubu/chubu/">https://www.water.go.jp/chubu/chubu/</a>
豊川用水総合事業部：	<a href="https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/">https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/</a>
木曽川水系連絡導水路建設所：	<a href="https://www.water.go.jp/chubu/kisodo/">https://www.water.go.jp/chubu/kisodo/</a>
愛知用水総合管理所：	<a href="https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/">https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/</a>
木曽川用水総合管理所：	<a href="https://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/">https://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/</a>
岩屋ダム管理所：	<a href="https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/">https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/</a>
阿木川ダム管理所：	<a href="https://www.water.go.jp/chubu/agigawa/">https://www.water.go.jp/chubu/agigawa/</a>
徳山ダム管理所：	<a href="https://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/">https://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/</a>
長良川河口堰管理所：	<a href="https://www.water.go.jp/chubu/nagara/">https://www.water.go.jp/chubu/nagara/</a>
味噌川ダム管理所：	<a href="https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/">https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/</a>
三重用水管理所：	<a href="https://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/">https://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/</a>

発行者：水資源機構中部支社